

◆ 廃止措置に係る新たな人材育成への取組について

■ 研修コース：原子炉施設廃止措置プロジェクト管理コース（当社敦賀総合研修センター開催）

■ 対象：大学・地方自治・地元企業・研究機関・電力会社・メーカの学生・若手技術者・廃止措置業務関係者

■ 研修内容

- （１）廃止措置の目的と概要 ⇒国内外の廃止措置の実例・特徴を解説
- （２）廃止措置の基本安全への理解 ⇒廃止措置管理に関するIAEAのGSRや日本原子力学会の学会標準の解説
- （３）廃止措置プロジェクト管理手法の習得 ⇒ISO-21500(プロジェクトマネジメント手引き)適用の実習

■ 嶺南Eコースト計画に基づく「2023年度公開研修コース」に追設し、当社HP及びパンフレットにて広く募集

■ 研修日程は、①講義2.5日間（7月24日～26日開催）＋②実習2.5日間（9月13日～15日開催）＝5日間
募集の結果、県内外の廃止措置関係者から受講申込を受付けて上記日程で今年度開催を決定する。

【2023年度 研修カリキュラム】

第1期カリキュラム【東京都内会場（対面）および敦賀総合研修センター会場（オンライン）での同時開催】

日	1 時限 9:00～10:30	2 時限 10:30～12:00	昼休憩 12:00 ～ 13:00	3 時限 13:00～14:30	4 時限 14:30～16:00
7/24 (月)				オリエンテーション 13:00～13:15	2. 廃止措置の概要
7/25 (火)	3. 廃止措置の基本安全 (1)	3. 廃止措置の基本安全 (2)		1. 廃止措置の目的 4. 廃止措置の方策 (strategy)	5. グレーテッドアプローチ
7/26 (水)	6. プロジェクト管理の概要	7. 廃止措置のプロジェクト管理		8. 廃止措置の課題	9. 廃止措置の現状

第2期カリキュラム【敦賀総合研修センター会場での集合開催】

日	1 時限 9:00～10:30	2 時限 10:30～12:00	昼休憩 12:00 ～ 13:00	3 時限 13:00～14:30	4 時限 14:30～17:00
9/13 (水)	オリエンテーション 9:00～9:15 11. プロジェクト管理実習	11. プロジェクト管理実習 【11:30～12:00 中間報告】		11. プロジェクト管理実習	11. プロジェクト管理実習 【16:30～17:00 中間報告】
9/14 (木)	11. プロジェクト管理実習	11. プロジェクト管理実習		11. プロジェクト管理実習	11. プロジェクト管理実習 【16:30～17:00 中間報告】
9/15 (金)	11. プロジェクト管理実習	11. プロジェクト管理実習 10:30～12:00 グループ発表			

【研修の特徴】

- ▶ 講師陣に、国内外の廃止措置事情に精通した社内・大学および研究所より講師を招き、廃止措置プロジェクト管理の専門知識をわかりやすく講義します。
- ▶ 廃止措置計画を題材にISO21500(プロジェクトマネジメント国際標準)によるプロジェクト管理を学ぶことにより、廃止措置の長期工事における各段階の工事内容を把握することができ、結果、各段階に応じた自社要員計画や工事規模に応じた経営戦略への一助となります。

クリアランスにフォーカスした理解活動の推進

1. 福井県内等におけるベンチ 展示先の拡大

- ・ 関係機関のご理解・ご協力のもと、民間施設を中心にクリアランスベンチを
県内13施設、県外3施設に展示中（計24脚）



2. イベントにおける展開

- ・ 敦賀原子力館にクリアランス特設コーナーを新設するとともに、県内イベントの当社ブースにてクリアランス制度の紹介、理解活動を展開中。また、関係機関イベントにてクリアランスベンチを休憩用として利活用。



敦賀原子力館でのクリアランス特設コーナー



出張イベントでの理解活動



関係機関イベントでのベンチ利用
（写真：つるが国際シンポジウム 11/2～3）

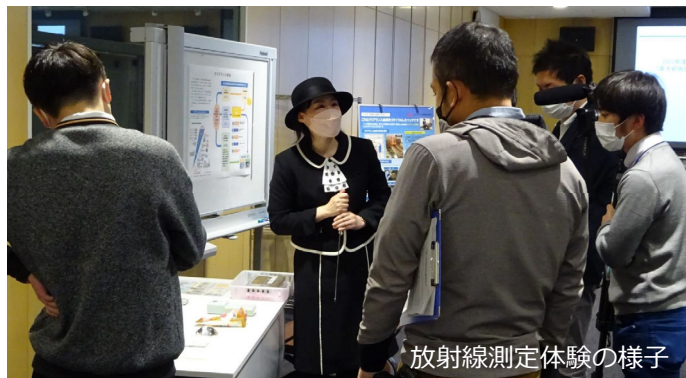
(I - 2 - ①) 廃炉・リサイクルビジネスの産業化

3. 継続した理解促進活動への展開

- アンケートでのご意見等を踏まえ上で、**説明用の資料・ポスターにクリアランス再利用のプロセスなどが分かりやすくなるよう見直し・更新**

4. メディアへのPR

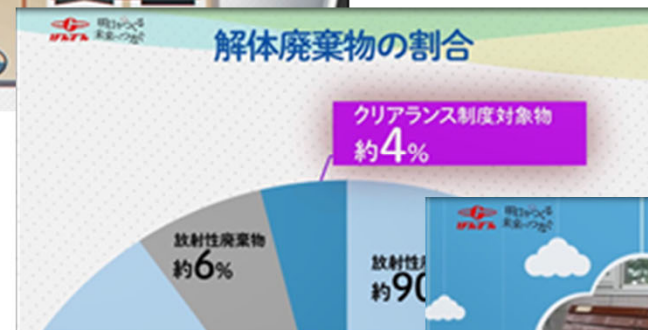
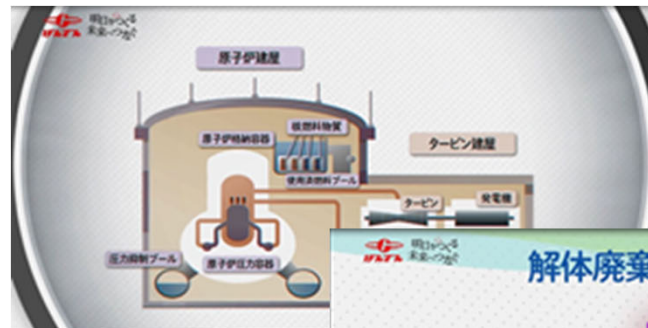
- 当社施設の**マスコミ見学会**に併せて、**報道機関に対してクリアランス制度をPR**
- 3月より、県内で**敦賀発電所1号機の廃止措置とクリアランス制度を紹介するテレビCM**を制作・放送開始 等



放射線測定体験の様子



報道機関へのクリアランス制度の理解活動



3月より放送を開始したテレビCM (30秒)

以下の番組内で現在放送中

- ・福井放送「キラリ情熱人」
- ・福井テレビ「日本全国 福むすび」
- ・ケーブルテレビ「E～仲間たち！」



どうぞ自由にお座りください！

これはクリアランス金属をリサイクルしたベンチです

ベンチ脚部の金属は、原子力発電所の解体で発生した金属をクリアランス制度によりリサイクルしたものです。

クリアランス金属の発生場所

クリアランス金属の安全性は？

クリアランス制度は、安全性の確保を大前提に、人の健康に対する影響を無視できる放射線レベルであることを確認する制度で、国の認可・確認を得て、普通の廃棄物と同様にリサイクルと処分することが可能です。

そのレベルは、年間0.01ミリシーベルトに定められており、私たちが自然放射線から受ける放射線量の1/100以下です。

東海発電所の原子炉の燃料を交換する設備の解体工事で発生した金属をリサイクルした。

※所在地：富山県富山

Recycle

クリアランス金属のリサイクル

解体された金属を以下のステップでリサイクルしました。

1. 解体 2. 選別 3. 溶融 4. 精製・検査 5. 製品化

5. 製品化

クリアランス制度の必要性

①「循環型社会」形成への貢献

- 資源として有効にリサイクルすることで、日本が目指す循環型社会形成に貢献することができます。

② 原子力発電所の廃止措置をスムーズに進める

- 放射性物質として扱う必要のない物は、リサイクルするなど適切かつ合理的に処理することで廃止措置をスムーズに進めることができます。

③ 放射性廃棄物を減らすことができます

- 普通の廃棄物と同様にリサイクルや処分することで、放射性廃棄物として管理する量を減らすことができます。

～お知らせ～

鉄スクラップを主原料とする鋼材は、高炉法（原料の鉄鉱石を溶かして鉄を取り出す方法）に比べ放射性物質のCO2排出量を1/10以下に抑えることが可能です。

国内のCO2削減（地球温暖化対策）にも貢献

更新したベンチ説明ポスター

